

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料4-2
提出年月日	2023年1月13日

## 指摘事項

No.28 (221223-28)	火災による 損傷の防止	比較表 29 ページ) 天井が高いエリア及び低いエリアがあることが分かる図面を追加すること。また、同じ火災区画内で複数の組み合わせの異なる感知器で十分に感知できることを説明すること。先行実績の有無についても確認し説明すること。
----------------------	----------------	--

使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫エリアは大部分が天井の高い大空間となっており、天井が高いエリアは火災による熱が周囲に拡散することから、熱感知器による火災感知は困難である。


このため、アナログ式の煙感知器及び非アナログ式の炎感知器をそれぞれの監視範囲に火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置する設計とする。

また、当該エリアのうち一部の部屋及び空間は、天井が低く、熱感知器による火災感知が可能であるため、アナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器を設置する設計とする。

図1及び図2に、使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫エリアのうち、天井が高く大空間となっているエリアと天井の低いエリアの位置を示す。写真撮影場所及び写真撮影方向を図1に示し、図2は当該エリアの天井が高く大空間となっている箇所と天井が高いエリア以外を断面図で示している。



図1 使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫エリア 平面図

 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

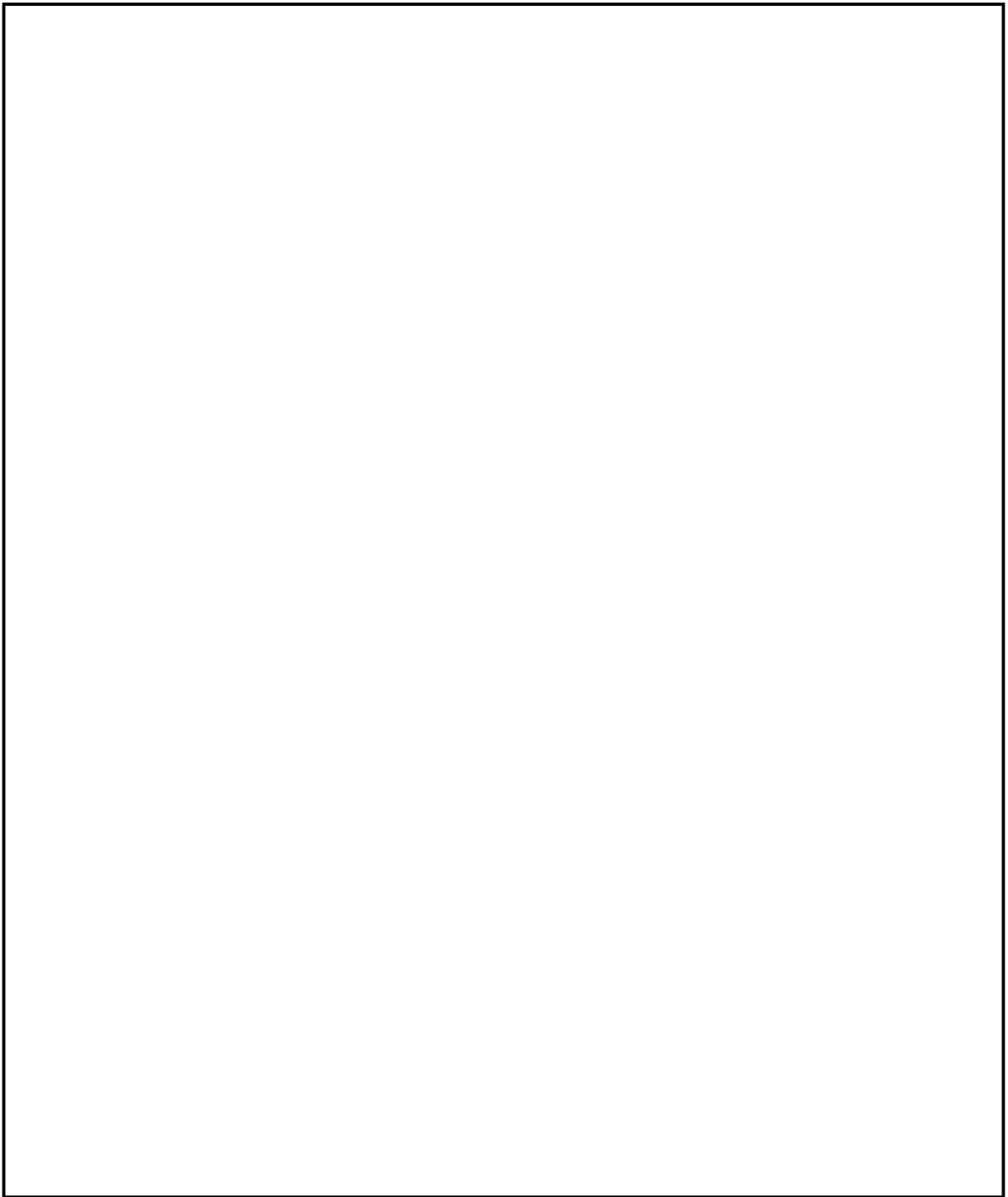



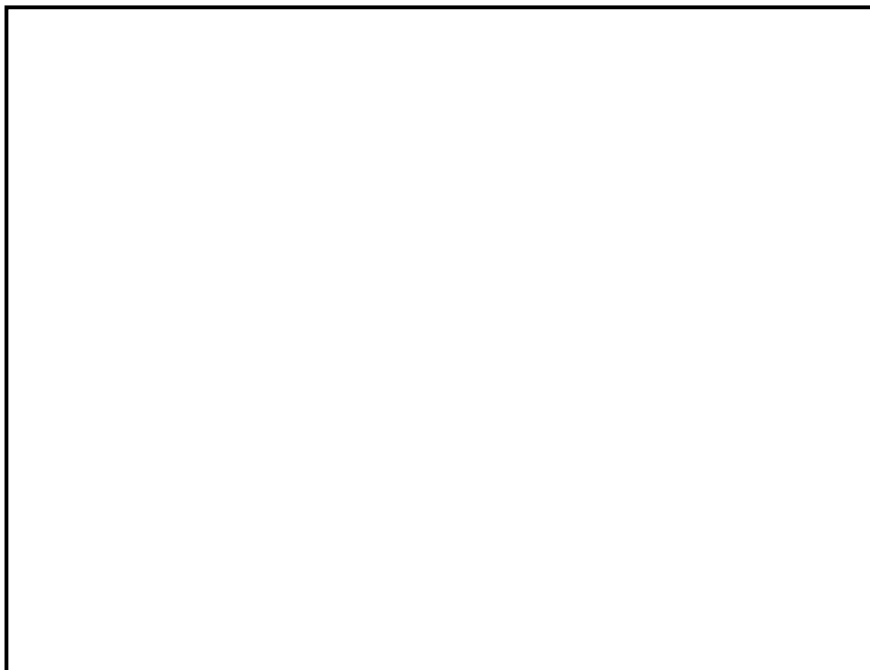
図2 使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫エリア 断面図 (A-A)

 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

## ヒアリングにおけるコメント回答資料


使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫エリアの写真を以下に示す。

新燃料貯蔵庫側の天井高さは約 21m、使用済燃料ピット側の天井高さは約 14m であり、天井が高く大空間となっている箇所には、アナログ式の煙感知器及び非アナログ式の炎感知器を設置する設計とする。



使用済燃料ピット及び新燃料貯蔵庫エリアのうち、以下に示す燃料検査室、燃料検査設備倉庫及び燃料検査室の下部に位置する空間については、天井が低いエリアであり、アナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器を設置する設計とする。



 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。